

# 6章 確率

## 6-1 確率

数2-6-1(1)

あることからの起こりやすさを数で表したものを **確率** といい。

たとえば、さいころを投げるとき、1の目が出る確率は  $\frac{1}{6}$  である。

\* 1の目が出る確率だから、1の目が6回のうち かならず1回出る

というわけではない。

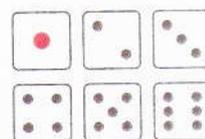
同じ実験や観察を多数回くり返すとき、そのことが起こる相対度数がその確率( $p$ )に近づくという意味をもっています。

1. さいころを1個投げるとき、次の問いに答えなさい。

(1) さいころの目の出方は全部で何通りありますか。

(2) 偶数の目が出る場合は何通りありますか。

(3) 偶数の目が出る確率を求めなさい。



### 確率の求め方

数2-6-1(2)

① 起こりうる場合が全部で  $n$  通り

② そのうち、ことから  $A$  が起こる場合が  $a$  通り

③ 確率  $p = \frac{a}{n}$   $0 \leq p \leq 1$

2. ジョーカーを除く52枚のトランプから1枚ひくとき、次の問いに答えなさい。

(1) 起こりうる場合は全部で何通りありますか。

(2) ひいたカードがハートである場合は何通りありますか。

(3) ひいた1枚がハートである確率を求めなさい。

\* さいころやトランプが正しく作られていて、どの結果が起こることも同じ程度に期待できることを **同様に確からしい** といいます。

# 6章 確率

## 6-1 確率

数2-6-1(1)

あることからの起こりやすさを数で表したものを **確率** という。

たとえば、さいころを投げるとき、1の目が出る確率は  $\frac{1}{6}$  である。

\* 1の目が出る確率だから、1の目が6回のうちかならず1回出る

というわけではない。

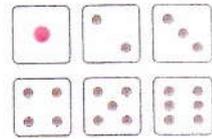
同じ実験や観察を多数回くり返すとき、そのことが起こる相対度数がその確率 ( $p$ ) に近づくという意味をもっています。

1 さいころを1個投げるとき、次の問いに答えなさい。

(1) さいころの目の出方は全部で何通りありますか。 **6通り**

(2) 偶数の目が出る場合は何通りありますか。 **3通り**

(3) 偶数の目が出る確率を求めなさい。  $\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$



### 確率の求め方

数2-6-1(2)

① 起こりうる場合が全部で  $n$  通り

② そのうち、ことから  $A$  が起こる場合が  $a$  通り

③ 確率  $p = \frac{a}{n}$   $0 \leq p \leq 1$

2 ジョーカーを除く52枚のトランプから1枚ひくとき、次の問いに答えなさい。

(1) 起こりうる場合は全部で何通りありますか。 **52通り**

(2) ひいたカードがハートである場合は何通りありますか。 **13通り**

(3) ひいた1枚がハートである確率を求めなさい。  $\frac{13}{52} = \frac{1}{4}$

\* さいころやトランプが正しく作られていて、どの結果が起こることも同じ程度に期待できることを **同様に確からしい** といいます。

<例1> 2枚のコインA, Bを投げるとき, 2枚とも表が出る確率を求めなさい。

コインAが表, コインBが裏になる場合を〔表, 裏〕と表すと。起こりうる場合は全部で

〔表, 表〕, 〔表, 裏〕, 〔裏, □〕, 〔裏, □〕

の4通りで, どの場合が起こることも同様に確からしい。

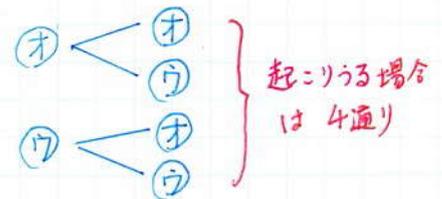
2枚とも表になるのは □ 通り。求める確率は □

樹形図

確率を求めるとき, 右のような図を使うと考えやすくなります。

このような図を 樹形図 といいます。

表を○, 裏を□と表しています。  
コインA    コインB

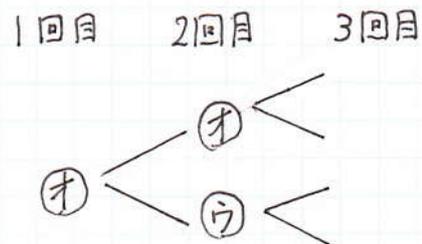


3

1枚の硬貨を続けて3回投げるとき, 次の問いに答えなさい。

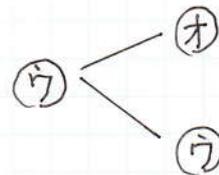
(1) 右の樹形図を完成させて

表裏の出方が全部で何通りあるか求めなさい。



(2) 3回とも表が出る確率を求めなさい。

(3) 表が1回, 裏が2回出る確率を求めなさい。



(4) 少なくとも1回は表が出る確率を求めなさい。

<例1> 2枚のコインA, Bを投げる時, 2枚とも表が出る確率を求めなさい。

コインAが表, コインBが裏になる場合を〔表, 裏〕と表すと、起こりうる場合は全部で

〔表, 表〕, 〔表, 裏〕, 〔裏, 表〕, 〔裏, 裏〕  
の4通りで, どの場合が起こることも同様に確からしい。

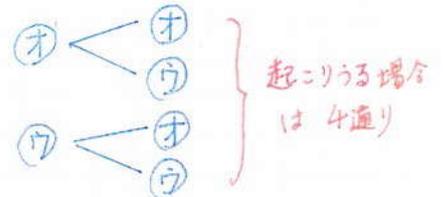
2枚とも表になるのは 1 通り。求める確率は  $\frac{1}{4}$

樹形図

確率を求める時, 右のような図を使うと考えやすくなります。

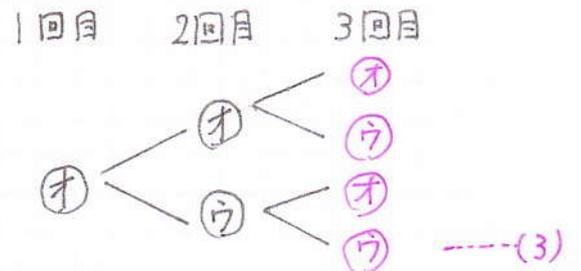
このような図を 樹形図 といいます。

表を○, 裏を㊦と表しています  
コインA    コインB



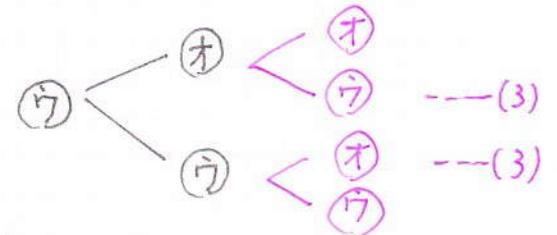
3 1枚の硬貨を続けて3回投げる時, 次の問いに答えなさい。 数2-6-1(4)

(1) 右の樹形図を完成させて  
表裏の出方が全部で何通りあるか  
求めなさい。 8通り



(2) 3回とも表が出る確率を求めなさい。  
 $\frac{1}{8}$

(3) 表が1回, 裏が2回出る確率を求めなさい。  
 $\frac{3}{8}$

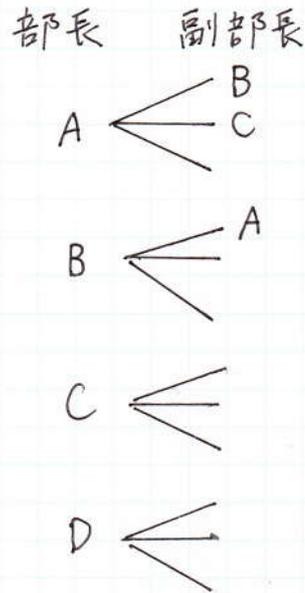


(4) 少なくとも1回は表が出る確率を求めなさい。

3枚とも裏でない 7通りあるので  
 $\frac{7}{8}$

4 A, B, C, D の4人のなかから部長1人, 副部長1人を  
選ぶとき, 次の問いに答えなさい。

- (1) 樹形図を完成させなさい。
- (2) 選ぶ方は全部で何通りありますか。
- (3) Aが部長になる確率を求めなさい。



5 この4人のなかから当番を2人選びます。

- (1) 選ぶ方は全部で何通りありますか。
- (2) Aが当番になる確率を求めなさい。
- (3) Bが当番になる確率を求めなさい。

2つのさいころを投げるとき 36通りの目の出方があります。  
この問題の場合は表を使うと分かりやすくなります。

<例2>

大小2つのさいころを投げるとき,

出た目の和が6となる確率を求めなさい。

①は 大小のさいころの目が [3, 1] を  
表しています。

出た目の和が6の場所には **○印**をつけよう。

和が6になるのは  通り。

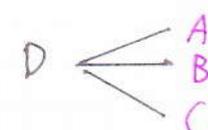
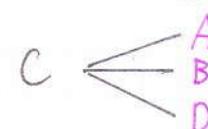
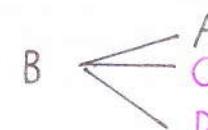
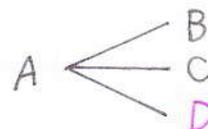
したがって 確率は

大 小	1	2	3	4	5	6
1			①		○	
2				○		
3						
4						
5						
6						

4 A, B, C, Dの4人のなかから部長1人, 副部長1人を選ぶとき, 次の問いに答えなさい。

(1) 樹形図を完成させなさい。

部長 副部長



(2) 選ぶ方は全部で何通りありますか。

12通り

(3) Aが部長になる確率を求めなさい。

$$\frac{3}{12} = \frac{1}{4}$$

5 この4人のなかから当番を2人選びます。

(1) 選ぶ方は全部で何通りありますか。

6通り

(2) Aが当番になる確率を求めなさい。

$$\frac{3}{6} = \frac{1}{2}$$

(3) Bが当番になる確率を求めなさい。

$$\frac{1}{2}$$

5



C-D

AとB, BとAは同じ

2つのさいころを投げる時 36通りの目の出方があります。

この問題の場合は表を使うと分かりやすくなります。

<例2>

大小2つのさいころを投げる時,

出た目の和が6となる確率を求めなさい。

①は大小のさいころの目が[3, 1]を表しています。

出た目の和が6の場所には○印をつけよう。

和が6になるのは 5 通り。

したがって 確率は

$$\frac{5}{36}$$

大 小	1	2	3	4	5	6
1			①		○	
2				○		
3			○			
4		○				
5	○					
6						

6 大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 出る目の数の和が4になる確率
- (2) 出る目の数の和が10になる確率
- (3) 出る目の積が8になる確率
- (4) 出る目の数の和が4以下になる確率
- (5) 出る目の積が36以下になる確率
- (6) 出る目の和が13になる確率

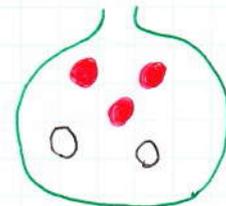
大 小	1	2	3	4	5	6
1						
2						
3						
4						
5						
6						

$0 \leq \text{確率} p \leq 1$

7 袋の中に、赤玉3個と白玉2個が入っている。

この袋の中から玉を同時に2個取り出すとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 取り出した玉が2個とも赤玉である確率
- (2) 赤玉と白玉が1つずつである確率



赤玉を ①, ②, ③

白玉を 4, 5

と番号をつけて

樹形図をかきましょ。

6 大小2つのさいころを同時に投げるとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 出る目の数の和が4になる確率  
 $(1,3) (2,2) (3,1) \frac{3}{36} = \frac{1}{12}$
- (2) 出る目の数の和が10になる確率  
 $(4,6) (5,5) (6,4) \frac{1}{12}$
- (3) 出る目の積が8になる確率  
 $(2,4) (4,2) \frac{2}{36} = \frac{1}{18}$
- (4) 出る目の数の和が4以下になる確率  
 表の0印(6面)  $\frac{1}{6}$
- (5) 出る目の積が36以下になる確率  
 すべて36以下なので 確率は 1
- (6) 出る目の和が13になる確率  
 起こらないので 確率は 0

大 小	1	2	3	4	5	6
1	0	0	0			
2	0	0				
3	0					
4						
5						
6						

$0 \leq \text{確率 } p \leq 1$

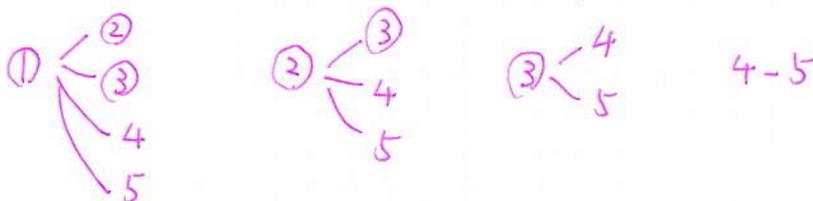
7 袋の中に、赤玉3個と白玉2個が入っている。

この袋の中から玉を同時に2個取り出すとき、次の確率を求めなさい。

- (1) 取り出した玉が2個とも赤玉である確率  $\frac{3}{10}$
- (2) 赤玉と白玉が1つずつである確率  $\frac{6}{10} = \frac{3}{5}$



赤玉を ①, ②, ③  
 白玉を 4, 5  
 と番号をつけて  
 樹形図をかきましょう。



補充問題 A

1 2, 3, 4 の数字を1つずつ書いたカードがある。この3枚を並べて3けたの整数をつくる時、次の問いに答えなさい。

- (1) 3けたの整数は何通りできますか。
- (2) できた整数が奇数である確率を求めなさい。

2 袋の中に、赤玉が1個、青玉が2個、白玉が3個入っている。

- (1) この袋から玉を1個取り出すとき、青玉である確率を求めなさい。
- (2) この袋から同時に2個取り出すとき、青球がふくまれる確率を求めなさい。

3 袋の中に1円, 5円, 10円, 50円, 100円, 500円の硬貨が1枚ずつ入っている。この袋から硬貨を同時に2枚取り出すとき、金額の合計が150円以上になる確率を求めなさい。

# 補充問題 A

1 2, 3, 4 の数字を1つずつ書いたカードがある。この3枚を並べて3けたの整数をつくる時、次の問いに答えなさい。

(1) 3けたの整数は何通りできますか。

234, 243, 324, 342, 423, 432 6通り

(2) できた整数が奇数である確率を求めなさい。

$$\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$$

一の位が奇数ならば  
3枚中1枚のみ  $\frac{1}{3}$

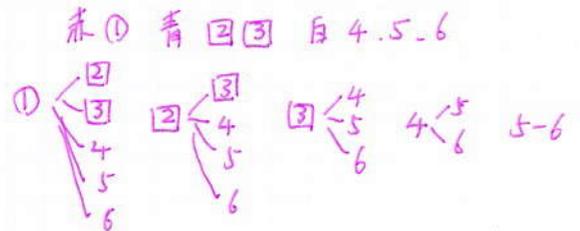
2 袋の中に、赤玉が1個、青玉が2個、白玉が3個入っている。

(1) この袋から玉を1個取り出すとき、青玉である確率を求めなさい。

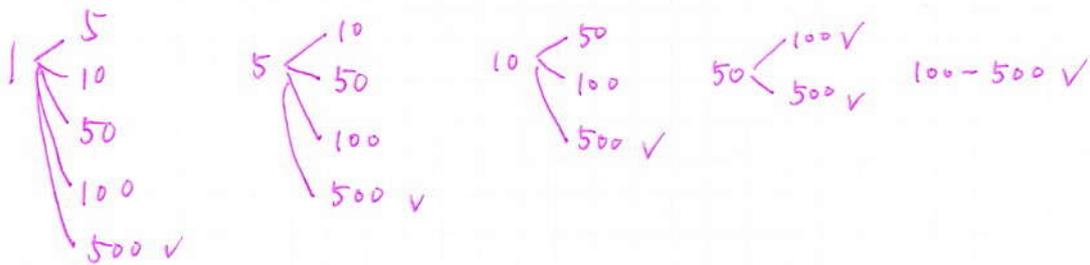
$$\frac{2}{6} = \frac{1}{3}$$

(2) この袋から同時に2個取り出すとき、青球がふくまれる確率を求めなさい。

$$\frac{9}{15} = \frac{3}{5}$$



3 袋の中に1円, 5円, 10円, 50円, 100円, 500円の硬貨が1枚ずつ入っている。この袋から硬貨を同時に2枚取り出すとき、金額の合計が150円以上にたつ確率を求めなさい。



$$\frac{6}{15} = \frac{2}{5}$$

補充問題 B

1 大小2つのさいころを投げる時、大きいさいころの目の数を  $a$ 、小さいさいころの目の数を  $b$  とします。

(1)  $a > b$  となる確率を求めなさい。

(2)  $\frac{a}{b}$  が整数となる確率を求めなさい。

(3) 方程式  $5x - a = b$  の解が整数となる確率を求めなさい。

2 7本のうち3本のあたりくじが入っているくじがある。

このくじを A, B の 2人が1本ずつひくこととする。

A が先に1本ひき、続いて B が1本ひくとき、

B があたりくじをひく確率を求めなさい。

# 補充問題 B

1 大小2つのさいころを投げる時、大きいさいころの目の数を  $a$ 、小さいさいころの目の数を  $b$  とします。

(1)  $a > b$  となる確率を求めなさい。

$$\frac{15}{36} = \frac{5}{12}$$

(1)

$a \setminus b$	1	2	3	4	5	6
1		○	○	○	○	○
2			○	○	○	○
3				○	○	○
4					○	○
5						○
6						

(2)  $\frac{a}{b}$  が整数となる確率を求めなさい。

$$\frac{14}{36} = \frac{7}{18}$$

(3) 方程式  $5x - a = b$  の解が整数となる確率を求めなさい。

(2)  $\frac{a}{b} \dots 1, 2, 2, 3, 3, 4, 4, 4, 5, 5, 6, 6, 6, 6$   
 $b \dots 1, 1, 2, 1, 3, 1, 2, 4, 1, 5, 1, 2, 3, 6$  の14通り

(3)  $x = \frac{a+b}{5}$

$a+b$  が5の倍数になればよい。

(1, 4) (2, 3) (3, 2) (4, 1) (4, 6) (5, 5) (6, 4)

の7通り

$$\frac{7}{36}$$

2 7本のうち3本のあたりくじが入っているくじがある。

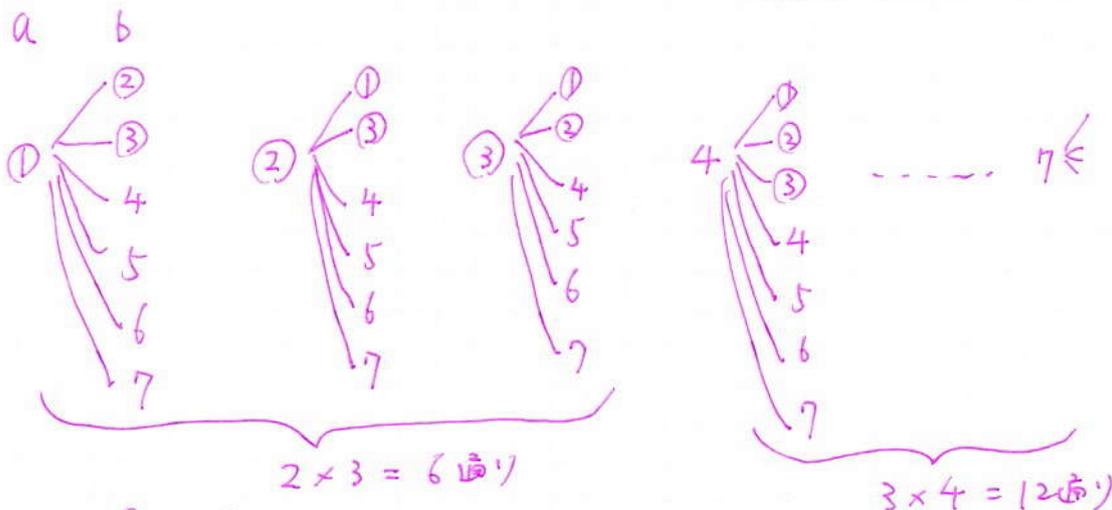
このくじを A, B の2人が1本ずつひくこととする。

A が先に1本ひき、続いて B が1本ひくとき、

B があたりくじをひく確率を求めなさい。

あたり ① ② ③

はずれ 4, 5, 6, 7



$$\frac{18}{42} = \frac{3}{7}$$

A も B も同じ確率